

特定非営利活動法人 日本スポーツ栄養学会 第8回大会報告

柳沢香絵（相模女子大学）

2022年8月27～28日に相模女子大学にて3年ぶりの現地開催として日本スポーツ栄養学会大会が開催されました。新型コロナウイルスの影響もあり、現地参加される方の予想がつきませんでした。2日間で延べ746名と多くの方々に来場いただき、活気と笑顔が溢れる盛況な会となりました。また、9月12～30日までのオンデマンド配信を利用される方も多く、現地開催と合わせて参加登録者数は1,049名となりました。



写真) 学会大会の看板



写真) コロナ感染対策 会場入り口

2日間のプログラムは大会長講演を皮切りに、特別講演、教育講演、シンポジウム、スポンサーセミナー・シンポジウム、学会企画、一般演題（88演題）と、各会場にサテライト会場を設け、多数開催されました。

一般演題では学会の投稿規程の改定を踏まえ、事例報告の部門を細分化し、「症例報告」部門を新たに設置しました。研究・調査に関する部門も含め現地では質疑応答において活発な議論が行われ、久しぶりの対面での学術的交流を楽しんで下さっている様子が印象的でした。

2日目最後のプログラムとして、岡村浩嗣先生（大阪体育大学大学院）による特別講演（市民公開講座）が行われました。ウェイトコントロール（増・減量）におけるエネルギー調整についてこれまでの研究室のデータを紹介いただきながら解説いただき、増・減量時のエネルギー摂取の指針につながる考え方を説明いただきました。

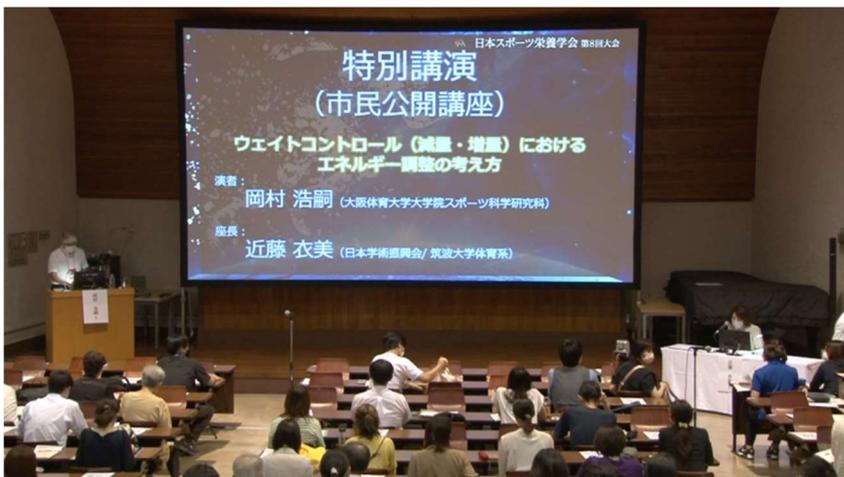




写真) 特別講演 (市民公開講座) の様子 講師の岡村浩嗣先生と司会の近藤衣美先生



写真) 優秀演題賞 表彰式

一般演題のうちポスター発表の質疑応答は、オンライン (zoom) による対面式で行
いました。参加者はそれほど多くはありませんでしたが、参加された方からは「発表

者に多くの質問ができ、よい交流の場となった」との意見をいただきました。今後もオンラインを活用した学会発表が続くことが予想される中で、発表や質疑応答の方法も改善されていくことが期待されます。

現地開催1ヶ月前から始まった新型コロナウイルスの第七波の大流行により感染対策が厳重となりましたが、参加された皆様のご協力のおかげにより無事に終えることができましたことを心から感謝申し上げます。また、懇親会の参加を楽しみにされていた会員の方々も多かったことと思います。開催の間際まで検討いたしましたが、慎重にならざるをえず、残念ながら中止といたしました。この場をかりてお詫び申し上げます。第9回大会では学術的交流と懇親のいずれも充実した大会となりますことを願っています。

最後になりましたが、多大なるご支援・ご協力を賜りました企業・団体、そして参加者の皆様に御礼申し上げます。ありがとうございました。

以上